

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ふるばキッズup		
○保護者評価実施期間	7年 2月 1日		7年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	7年 2月 1日		7年 2月 1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	7年 3月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・生活・学習・運動・SSTなど様々なジャンルの集団プログラムを行っています。	・スタッフ間で話し合いプログラムの立案を行う事で、様々なジャンルに挑戦出来るようにしています。 ・各プログラムにねらいを決め、目的を持って取り組めるように利用者様に説明を行っています。 ・担当のスタッフを決め、内容が固定化されないようにしています。	・保護者様や利用者様のご要望があった場合には、スタッフ間で共有し、取り入れていきます。 ・研修に参加したり、本を見たりして、より専門的な内容のプログラムが行えるようにしていきます。
2	・保護者様のご要望にお応えし、利用者様の気持ちを汲み取り寄り添いながら、一人ひとりのペースに合わせた支援を行っています。	・モニタリング、送迎時、連絡ノート等で保護者様とコミュニケーションを取っています。 ・ご要望をお聞きした際には、スタッフ間で共有し、どのように行っていくか話し合っています。 ・利用者様の気持ちを理解出来るように、日頃からよく観察を行い、コミュニケーションを取っています。	・保護者様や利用者様のご要望を伝えやすいように、日頃からコミュニケーションをしっかりと取っています。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・他事業所や地域との交流が少ないです。	・プログラムでおでかけを設定し、地域の方との交流を図っているが機会が少ないです。	・交流出来るようなプログラムを増やしていく。
2	・個別で落ち着ける部屋がないです。	・クールダウンが必要な場面もある為、静かで落ち着ける部屋が一つあればいいと思います。 今は、なるべく静かな空間を活用しています。	・危険のない落ち着ける場所を検討中です。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ふるばキッズup

公表日 R7年3月31日

利用児童数 12

回収数 10

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	9			1		適切な人員配置にて運営をさせていただいております。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8			2		扉の幅やトイレ等バリアフリーにはなっていませんが、現在のご利用児童に支障がない程度です。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	9			1		送迎後に清掃している。
適切な 支援 の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10					勉強会を定期的に行っている。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10					
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	10					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10					
保護 者 へ の 説 明 等	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	3	1	3	3		
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	1	2	2		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	10					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9	1				
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9		1			
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1		4	5		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8		1	1		保護者様から苦情や相談があった際は管理者に報告の上、迅速で適切な対応をします。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10					送迎時以外に半年に一回は確実にモニタリングを実施し面談を行っています。必要な場合は自宅訪問や相談員を交え面談の場を設けて行きます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	10					見られていない親御様にはLINEにてお写真を送らせていただいたり、送迎時等に活動様子をお見せしてしております。今後もSNSにて、毎日の活動の様子を更新していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10					今後とも個人情報の取り扱いには注意して運営させていただきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8			2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8			2		毎月1回、防災・避難訓練の実施しております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8			2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	10					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	8	2				本人・ご家族が楽しく安心して通っていただけるように努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	10					楽しみながら「できた」の経験をサポートしていきます。

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	ふるばキッズup					公表日	令和7年 3月 31日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点						
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○								
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○								
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○								
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○								
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○								
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○								
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○								
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		店舗や全店舗合同で定期的に会議を行っている。						
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	担当利用者様の相談員から評価していただいたり、療育への知識や事故の改善点・スタッフの育成等の業務改善につなげている						
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		他の職員が受けた外部研修を職場研修の場で周知実施していく。						
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		契約時に親御様からお子様の様子や困りごと、どういった支援を行っていくかの方向性を統一し施設御様の想いをもとに作成を行っている。						
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○								
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○								
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○								
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		受診先で受けたアセスメントツールの結果をもとに支援や計画書に生かしている。						
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○								
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		プログラム担当が職員の意見をまとめ、出たプログラム内容を組み合わせながら作成している。						

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		運動・SST・工作・レク等毎日日替わりで作成している。また曜日固定の利用の為、個々に適したプログラム内容を調べ新しい物を取り入れている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>		毎日出勤時のミーティングで流れや目的等確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>		送迎後、事業所内で気になった点や保護者からのお話しの情報共有を行っている。また支援内容を細かく次の日に向けて決めている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>		連絡事項共有ノートやLINEに毎日記載している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>		半年に一度モニタリングを実施している。半年前とは様子は違う為、とても必要な場と認識している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	<input type="radio"/>			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	<input type="radio"/>		複数提案し、子どもが選択できるようにしている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	<input type="radio"/>		送迎時、先生と情報共有を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	<input type="radio"/>			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	<input type="radio"/>		現段階では卒業生はいない。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	<input type="radio"/>			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域他のこどもと活動する機会があるか。	<input type="radio"/>			
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	<input type="radio"/>			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	<input type="radio"/>			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	<input type="radio"/>			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		SNSで毎日掲載している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		提供時間終了後、名前が記載されている物は全て事務所に入れ施錠している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアル作成済	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		親御様から避けて欲しいアレルギーや食べ物を伝えられる為、徹底している。表にまとめて	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットの作成を行い、大きな事故を未然に防ぐよう対策を考えている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		契約書に記載している。		